

第5学年社会科学学習指導案

日時 平成27年10月21日

場所 5年生教室

授業者 近藤 一

1. 単元名 「自動車をつくる工業」(11時間)

2. 指導について

(1) 単元について

本単元「自動車をつくる工業」では、自動車をつくる工業に従事している人々の様々な工夫や努力について具体的に調べることを通して、消費者の多様な需要にこたえ、環境に配慮しながら、優れた製品を生産していることを理解し、工業生産は国民生活を支える重要な役割を果たしていることを考える。

自動車産業は、我が国の製造業の中心に位置し、世界に認められる技術を次々と生み出してきた。我が国の自動車産業の素晴らしさは、消費者の製品に対する信頼の高さに裏打ちされたものである。

その一方で、資源、環境、安全の問題や価格競争などが激化し、消費者のニーズは多種多様なものになっている。

こうした消費者のニーズに応えようとする人々の姿を通して、我が国の工業生産が国民生活の向上や産業の発展に果たしている役割を考える力を育てていきたいと考える。

(2) 児童の実態

5年生は、男子14名、女子17名の31名の学級である。資料から分かったことや考えたことを発言しようとする意欲は高く、前単元「米づくりのさかんな地域」の学習では、複数の資料を関連付けて読み取り、考えようとする姿が見られた。

しかし、地図帳や統計などの各種の資料を効果的に活用して調べることや社会的事象の意味について考えたことを根拠や解釈を示しながら図や文章などで表現し説明する力にはまだ弱さが見られる。

本単元では、自動車の部品に関わる現場で働いている人物に焦点を当てて学習を進める。そして、こうした人々のはたらきによって自分たちの生活が成り立っていることをつかませ、社会的事象への関心を高め、社会的事象の意味について考える態度や考えたことをキーワードをもとにして表現する力を育てていきたいと考える。

3. 研究主題との関わり

研究内容(1)のAに関わって

単元の導入で、児童の家庭の自動車に関する実態調査を行い、自動車が、わたしたちの生活に欠かさないものであるという意識をもたせ、校区の部品関連の事業所を教材化し、一つの自動車部品の大切さに注目させることにした。

研究内容(1)のイに関わって

本時の導入では、校区の部品関連事業所で扱う部品の良品と不良品を提示する。良品は写真で黒板に提示し、不良品はグループごとに児童が手に取って調べることができるようにする。ほとんど良品と変わらない部品を検査で不良品としていることへの驚きを課題につなげたい。

研究内容(2)のAに関わって

本単元の学習では、自動車関連工場の見学を2回位置付けた。見学の視点を絞り込み、課題意識が高まるようにした。見学し調べる時間、調べたことを整理しまとめる時間、調べたことをもとに思考・判断を深める時間と単位時間の役割を明確にした。

研究内容(2)のイに関わって

資料の読み取りの視点を明確にし、資料から分かったことと考えたことについてペアで交流したり、確認したりする場を設けた。

本時の終末では、どの児童もまとめを書くことができるだけの時間を確保する。また、全体交流だけでなくペア交流の場を設け、課題に対する答えになっているか、本時のキーワードを用いて書けたか、相互に見届けをするようにする。

研究内容(3)のAに関わって

追究活動の前半には、厳しい検査がされている理由について追究できるように、一つの部品の不具合が車の品質や安全につながるという資料、お客さんの車を購入する時に要望することのアンケートを資料として提示する。これらの資料の読み取りから、厳しい検査をしているのはなぜかという課題に迫る。

研究内容(3)のイに関わって

追究活動の後半には、考えを深めるための資料として、責任者の安田さんの思いの文書資料を提示する。厳しい品質管理をしている理由について考えることを通して、消費者の安全、安心、ニーズに応える安田さんの思いに共感させる。

4. 単元指導計画 (全12時間)

時	ねらい	学 習 活 動	【評価規準】(評価方法)
1	自動車と生活との関わり、自動車づくりに対する関心や疑問をもつことができる。	①わたしたちの生活には、自動車が欠かせないことをつかむ。 わたしたちはふだん、自動車をどのように利用しているのだろう。たくさんの自動車は、どこで生産されているのだろう。 ②アンケート結果をもとに、自動車を生活の様々な場面で利用していることと、そのさまざまな理由について知る。 自動車はわたしたちの生活に欠かせないものであり、自動車工場は特に愛知県豊田市の周辺に多く分布している。	【社会的事象への関心・意欲・態度】 工業生産と自分たちの生活との結びつきに関心をもとうとしている。 (発言・ノート)
2	日本の自動車が世界で売れている理由を考え、学習問題をつくり、学習計画を立てることができる。	①日本の自動車が世界で売れている理由を考え、学習問題を見だし、予想を立て、大まかな学習計画を立てる。 日本の自動車が世界で売れている理由は何だろう。予想を立て、学習計画を立てよう。 ②予想を立て交流する。 ③学習問題をつくり、学習計画を立てる。 日本の自動車は故障が少ない、安全対策がよい、燃費がいいなどの理由で売れている。よりよい自動車をたくさんつくるために、どのようなくふうや努力をしているのだろう。 〈学習問題〉自動車づくりで働く人々は、注文通り、早く、正確に、自動車をたくさんつくるために、どのようなくふうや努力をしているのだろう。	【社会的な思考・判断・表現】 日本の自動車が世界で売れている理由を考え、学習問題を見だし、予想を立て、学習計画を立案し表現している。 (発言、ノート)
3	生産者の工夫を予想し、自動車がどのような工場で作られているか、見学前に自分の調べたいことを整理することができる。	①自動車のつくり方を大まかに知る。 自動車を消費者の注文通りに、たくさんつくるためにどんなくふうがあるか予想しよう。 ②各工程において、どのような工夫をしているのかを予想する。 ③次時の見学で自分が見学してきたいことをまとめる。 私はプレスや溶接などはロボットを使っていると思う。でも、人間はどんな仕事を行い、組み立てがどのように行われているのか予想できないので、特に詳しく見学したい。	【社会的事象への関心・意欲・態度】 生産者の工夫を進んで予想し、見学する意欲をもとうとしている。 (発言・ノート)
4・5	自動車ができるまでの様子を見学し、自動車が注文通り、早く、無駄なくつくられる工夫を見つけることができる。	自動車を消費者の注文通りに、早く正確につくるくふうを見つけよう。 ①見学で特に見てくることを確認する。 ②自分の予想と比べながら自動車づくりの工夫を見つける。 注文通りに、早く、無駄なく、正確につくるためのくふうがあった。みんな、他の班もくふうをみつけたかな。交流したい。	【観察・資料活用の技能】 視点に沿って工場を見学したり、工場の人の話を聞いたりしながら、生産者の工夫を調べようとしている。 (観察メモ、発言)
6	見学で見つけた工夫を交流し、工場での自動車生産の工夫を理解することができる。	見つけたくふうを交流し、注文通りの自動車を早く、無駄なく、正確につくるくふうをまとめよう。 ①自動車ができた工程を確認する ②分かった工夫について交流し、まとめる。 注文通りに、早く、無駄なく、正確に自動車をつくるために、とてもたくさんのくふうをしていることが分かった。「カンバン方式」「ジャストインタイム」「指示ピラ」「改善」などのキーワードが見つかった。部品をつくる工場や関連工場はどんなくふうをしているのだろう。	【社会的事象についての知識・理解】 自動車の組立の順序や働く人の工夫などについて正しく理解している。 (発言・ノート)

7	部品が出荷されるまでの様子を見学し、関連工場で働く人々のくふうや思いを調べることができる。	関連工場では、部品が出荷されるまでにどのようなくふうや努力がされているのだろう。 ①部品が出荷される工程を調べる。 ②働く人の仕事について調べる。 関連工場も「ジャストインタイム」のためにくふうをしている。	【観察・資料活用の技能】 視点に沿って工場を見学したり、工場の人の話を聞いたりしながら、生産者の工夫を調べている。 (観察メモ、発言)
8	取材したことを整理し、まとめることができる。	関連工場では、部品が出荷されるまでにどのようなくふうや努力がされているのだろう。 ①取材したことを視点に沿って整理し、まとめる。 関連工場でも、安全、安心のためにくふうをしている。	【観察・資料活用の技能】 取材したことを視点に沿って整理し、まとめている。 (観察メモ、発言)
9 本時	自動車部品の責任者の安田さんが手間をかけて検査や確認をしているのは、消費者の安全、安心を考え、確かな品質の部品を届けようと思っているからであることを考え、表現することができる。	ほとんど良品と変わらないのに、事業所長の安田さんが検査や確認を大切に不良品を見付けているのはなぜだろう。 ①予想を交流する。 ②資料を読み取り、考えを交流する。 ③事業所長の安田さんの話から、仕事についての思いについて考えを深める。 事業所の安田さんが検査や確認を大切にしているのは、消費者が安全で安心して車に乗ることができるように、不良品を一つも出さないよう努力しているからである。	【社会的な思考・判断・表現】 働く人々が消費者の安全、安心のためやニーズにこたえるために様々な工夫や努力をしていることを考え、表現している。 (発言・ノート)
10	完成した自動車はどのようにして世界中の消費者のもとへ届けられるのかを調べ、消費者のもとへとどくまでの工夫について理解することができる。	完成した自動車は、トラックや自動車専用船などを使って消費者のもとへ届けられるが、最近では自動車の現地生産が増えているのはなぜだろう。 ①予想を交流する。 ②資料を読み取り、考えを交流する。 日本の自動車を現地で生産するよさは、その国の消費者に合った車を、できるだけ早く、安い値段で届けられるからである。品質のよさを現地生産で保つための工夫や努力がなされている。	【社会的な事象についての知識・理解】 自動車を現地生産するよさは、その国の消費者の好みに合った車をできるだけ早く、安い値段で届けられることを理解している。 (発言・ノート)
11	人と環境にやさしい自動車づくりについて調べ、理解することができる。	①人と環境にやさしい自動車づくりについて調べ、話し合う。 人と環境にやさしい自動車づくりにはどんなくふうや努力が大切なのだろうか。 ②資料を読み取り、環境、安全性、福祉の視点から考えを交流する。 自動車づくりにたずさわっている人々は、環境や安全性、福祉の視点などからも自動車の研究や開発を行っている。	【社会的な事象についての知識・理解】 人と環境にやさしい自動車づくりについて理解している。 (発言・ノート)
12	これまでの学習を振り返り、これからの自動車づくりについて自分なりの考えをまとめることができる。	これからの自動車づくりにおいて、求められていることや大切なことはどんなことだろうか。キャッチコピーで表そう。 ①キャッチコピーを考える。 ②キャッチコピーとその理由を説明し、考えを交流する。 自動車の生産は、消費者や社会の要望に応え、つくる人々や運ぶ人々など、働く人々のくふうや努力を生かしながら行われている。「地球環境にやさしい」「省エネ」「バリアフリー」「人にやさしい」「安全・安心」「リサイクル」	【社会的な思考・判断・表現】 人と環境にやさしい自動車づくりを考えている。 日本の自動車生産のよさについて調べたことをもとに、キャッチコピーにまとめている。

6. 本時の目標

自動車部品の事業所長の安田さんが、工場から届いた部品をさらに検査や確認をしているのは、親会社からの信頼が、最終的にはお客さんの安全、安心につながる仕事であると考えて、確かな品質の部品を届けようと思っていることを、資料をもとに考え、表現することができる。

7. 本時の展開

段階	ねらい	主な学習活動	◎指導・援助 ・資料	【評価規準】 ◇キーワード
つかむ	本時の課題をつかむことができる。	1. 導入資料から、本時の課題を設定する。 ・完成した部品を人の目を通してきびしく検査している。 ・不良品は作り直したりせずに捨てている。 ・良品と不良品の違いが分からない。 ・ほとんど変わらないなら不良品にしなくてもいいのではないか。 ほとんど良品と変わらないのに、安田さんが、検査や確認を大切に不良品を見付けているのはなぜだろう。	・部品の検査の場面の写真 ・実際の不良品 ◎不良品0を目指して物流センターでもきびしい検査をしていることから課題づくりをする。	
調べる	資料から事実をつかみ、課題に対する自分の考えをもち、交流することができる。	2. 予想を交流する。 ・不良品を出すと組み立て工場のラインが止まる。親会社から取引してもらえなくなる。 ・お客さんの安全、安心のため。事故や故障が起きる。 ・消費者（お客さん）の願いにこたえるためだと思う。 3. 資料を読み取り、考えを交流する。 資料1 ・不良品があると親会社のラインが止まり多くの損害が出る。2時間かけても新しい部品を届けに行かなければならない。 資料2 ・安全で安心できる車に乗りたい。故障のない車に乗りたい。 ↓ ↓ ・事業所長の安田さんが、検査や確認を大切にしているのは、親会社に不良品を一つも出荷しないようにして信頼を得ることが、お客さんの安心安全な車に乗りたいという願いにつながっているからである。 4. 深めの資料から、人物の思いについて考えを深める。 ・お客さんの安全、安心にこたえるために工夫や努力をしているのだ。 ・自分たちも、仕事や役割に責任をもって果たせるようにしていきたいな。	・事業所見学時の安田さんの話（親会社との信頼） ・保護者アンケート（消費者の車に対する願い） ・事業所長の安田さんの話 ◎消費者の安全、安心に関わる仕事である。これだけやれば絶対ということはないので常に改善していく。	【社会的な思考・判断・表現】 事業所長の安田さんが、お客さんの安全や安心を考え、確かな品質の部品を届けるために検査や確認をしていることを表現している。
まとめる	学習したことをもとにして、課題に対するまとめを書くことができる。	5. キーワードを用いて、学習のまとめを書く。 ・事業所長の安田さんが、手間をかけて検査や確認をしているのは、お客さんが安全で安心な車に乗ることができるように、不良品を一つも出さない努力をしているからである。	◎ペアでまとめを交流し、キーワードが用いられているか確認する。	◇お客さん安全、安心不良品一つも出さない